

Call for Paper

International Seminar in Matsue

学振アジア・アフリカ学術基盤形成事業による国際セミナー

2010.9.29-10.2

(島根県松江市 島根大学)

全体テーマ

日中条件不利地域における持続可能な発展

趣旨

2008, 2009 年度の国際シンポに引き続き、全体テーマを「**日中条件不利地域における持続可能な発展**」と設定しました。

これにもとづき、日中研究者による研究成果を発表し、条件不利地域の農業・農村開に関して、農村・農林畜業生産・資源管理の社会・経済および技術に関する課題とその解決方法、および生活習慣病・公衆衛生の課題とその解決方法を学際的に討論します。

また3年間の本プログラムの成果の締めくくりとして、諸課題を整理し、日中をはじめ東アジアの地勢的・社会的特性を考慮して、条件不利地域の農村振興と住民福祉の向上のための政策的示唆を考えます。

国際セミナーの予定

日程:	9/29(木)	夕刻	レセプション
	9/30(木)	午前	開会式・主題報告
		午後	分科会、研究発表
	10/1(金)	午前・午後	分科会、研究発表
	10/2(土)	午前	分科会からの報告、総括報告

場所: 島根大学生物資源科学部 2号館 6階 視聴覚教室 (50~60人規模)

使用言語: 日本語または中国語(逐次通訳つき)

報告時間: 30分(報告10分、通訳10分、質疑応答10分)

重要日程

アブストラクト 締め切り 7月31日

提出先: itokatsu@life.shimane-u.ac.jp

- ※ アブストラクトの分量 母言語 A4 用紙 1 ページ分, 翻訳 A4 用紙 1 ページ分 (A4 用紙の上下左右の余白は各 25 ミリ。日本語の場合 文字の大きさ 10.5P, 40 字程度 × 35 行程度。MS Word でお送りください)
- ※ アブストラクト提出にあたり, 母言語と, 中国語または日本語の対訳をつけて提出してください。対訳は各位ご手配ください。
- ※ セミナー当日に、各報告(母言語とその対訳つき)を冊子として配布します。

フルペーパー 締め切り 9月20日

提出先: itokatsu@life.shimane-u.ac.jp

- ※ フルペーパーは母言語のみ。A4 用紙 10~20 ページ (MS Word でお送りください)
- ※ フルペーパーは、セミナー当日にそのまま印刷し配布します。

参加要領

参加者に関して特に限定はありません。標記の全体テーマに関わる課題について奮ってご参加願います。

- 参加の事前登録はありませんが、アブストラクトの提出をもってこれに代えます。
- 報告の日時・時間帯は、8月上旬にホームページにアップします。

※報告時には、プロジェクターとパソコン(windows XP, パワーポイント 2003)を用意します。
(パワーポイントのファイルは、必ずパワーポイント 2003 で読める形式でお持ちください)

エクスカージョン

セミナーの開催前に、日本の中山間地域の現地視察を実施します。

(中国側招聘者と日本人希望者のみ、日本人希望者は実費負担をお願いします。

行き先は現在調整中ですが、中山間地域の課題に対するユニークな取り組み事例の現場を視察したいと考えています。)

日程:	9/27(月)	午前	松江出発
		午後	視察 (現地泊)
	9/28(火)	午前・午後	視察 (現地泊)
	9/29(水)	午前	視察
		午後	松江到着

そ の 他

◆ プロシーディング集の発行について(2011年3月予定)

セミナーでの報告と質疑応答の結果を反映して修正された論文のうち審査・選択されたものを集め、セミナーの終了後、プロシーディングとして発行します。

修正論文は11月30日までにご提出ください。

連 絡 先

◆ 本セミナーに関する日本側窓口

伊藤勝久(学振アジア・アフリカ学術基盤形成事業 日本側コーディネータ)

e-mail: itokatsu@life.shimane-u.ac.jp

TEL/FAX: (+81) 0852-32-6547

住所: 690-8504 松江市西川津町 1060 島根大学 生物資源科学部

◆ 参考ホームページ

アジア・アフリカ学術基盤形成事業 <http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/aa/index.htm>

島根大学 <http://www.shimane-u.ac.jp/>

寧夏大学 <http://www.nxu.edu.cn/>

寧夏医科大学 <http://www.nxmc.edu.cn/>

島根大学・寧夏大学国際共同研究所 <http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/index.html>

参 考

◆ 2008、2009年度実績 (H20年度, H21年度事業実施報告書より)

○島根大学(松江キャンパス)で、国際セミナーを開催(2008年12月5日～7日)

2008年12月には、寧夏大学、寧夏医科大学から研究者を招聘し、国際共同セミナー(『条件不利地域における地域振興と生活改善—農林牧業の技術革新・新たな農村運営・地域医療と健康の疫学研究—』)を島根大学において実施した。これにより、両国・三大学間の共同研究を一層進める必要があることを全員で確認した。

【概要】

セミナーに先立って、招聘した中国側研究者とともに①日本の中山間地域における農村開発(地域振興研究)の現場の現地共同調査と②農村医療(疫学的研究)の共同研究を実施した。それによってセミナーへの共通理解が醸成された。この結果を踏まえたうえで共同研究の成果を2日間にかけて報告し、異なる分野間での議論も活発に行われた。さらに3日目に学際的な総合討論を論点整理に基づき、開発、社会変動、健康影響について実施した。さらに陳顧問から講評・アドバイスを得て、今後の共同研究と若手研究者育成の方向性と方法論に関して議論が行われた。

【成果】

本セミナーでは多岐にわたる報告が行われ、主題報告について、農村開発(社会経済、農林畜産生産技術、環境・廃棄物対策、水環境と水利用など)および農村医学(生活習慣病の疫学的研究、地域医療、衛生問題など)からの報告が17本あった。予稿集を作成し通訳付きの報告としたことから、他分野の研究者にも相互理解が深まった。これらを踏まえた総合討論では、論点整理を行ったうえで会場からの多くの意見が出され、本プロジェクトの意図する、共同研究と若手研究者育成のうえで多くの示唆が得られた。最大の成果と考えられるのは、農村開発と農村医療・健康増進について、関連する分野の研究者が新たなグループを組織して学際的研究に乗り出す気運が高まり、実際に21年度の調査では新たな研究分野を構成する予定になった。

○寧夏大学で、国際セミナーを開催(2009年11月8日～10日)

【概要】

テーマを「条件不利地域における地域振興と持続可能な発展」と設定し、これに基づき、多方面からの報告・討論が行われた。まず主題報告として、農村政策と地域医療の2側面から現状と課題・あるべき方向が指示された。その後、20本の報告が2日間にわたって行われ、最後に全体を踏まえて総括報告と討論が実施された。島根大学、寧夏大学、寧夏医科大学以外からの報告もあり、活発な討論が行われた。

【成果】

今回のセミナーの特徴は、中国側では社会科学系、医学系の研究に加え、自然科学系からの研究報告が多く、「地域振興と持続可能な発展」に関わる多くの分野の研究者の意識がテーマに収斂している点であった。また「西部学術ネットワーク」参加大学からの報告もあり、研究者の幅が拡大し、聴講者も寧夏大学の一般研究者や学生が多く見られ、影響を与えることが多かった。また学際研究を一層推進しようとする機運が高まり、新たな研究テーマが議論された。